



対象年齢：幼児から上限なし！

芝居屋杜川リントロウが、どこにでも出張公演いたします！

杜川リントロウ個人出張公演

なんと
15分あたり
5000円
より！

公演の準備は
最低**5分**！



上演時間は15分より。
子供向けの演目がメインで、絵本やトークやクイズ・イソップ童話、
その他お芝居を使った遊びや工作、簡易ワークショップなど。
一緒に楽しむステージを通して、「舞台に興味を持つ感性」を自然に育みます！

60分ステージ構成例（幼稚園～小学生対象例）

- 短いリーディング・読み聞かせ作品一本（5分）
- はじめましてのご挨拶「大きな声で」（4分）
- イソップ童話「ねことねずみ」、トーク～クイズ（6分）
- イソップ童話「狼少年のはなし」（5分）
- 声で遊ぼう「大声競争」（10分）
- お芝居で工作「ストローで笛を作ろう」（15分）
- 映像でプチミュージカル「ねずみのよめいり」（15分）

これだけやっても
20000円
でOK！
(ガンソン代実費のみ別途)



主な演目紹介 ※これらの演目は一例です。クリスマス等、行事や季節に沿った演目も多数。場にに合わせて演目を構成します。

イソップ童話

「ねことねずみ」
「狼少年のはなし」

みんなよく知ってるイソップ童話。じゃあ、誰が作ったか知ってるかな？絵本、クイズ、一人芝居と、参加形式で楽しくて知識も増える大道芸的演目。ほとんどの場合、ワンセットでの演目となります。主催者様にはサプライズでの出演協力もお願いしています。



お芝居で工作

「ストローで笛を作ろう！」

「声とおなか」を利用した楽しい工作。材料はストローだけ。それをハサミで2か所だけ切ればあら不思議、なんと笛になります。呼吸はお芝居の呼吸で、口は演奏の口で。これで君も今日から舞台人だ！みんなで協力しながら盛り上がる、楽しいワークショップです。



楽しくポイトレ

「大声競争」

さあ、大きな声を思いっきり出して僕とみんなと勝負をしよう！大きさは数字に出るから、みんな真剣。いつもと違い、今日は大きな声を出した方が褒められますよ。

招き猫の由来の話

「豪徳寺の招き猫」

江戸時代、彦根藩に伝わる昔話です。「ひこにゃん」の由来も実はここから。瀬戸の招き猫祭りで生まれた作品です。

瀬戸民話

「陶祖のはなし」
「品野の又サ」

奈良時代、中国で焼き物を学び瀬戸にその技術を伝えた加藤四朗左衛門景正。半世紀前、身許不詳なのに瀬戸の町で大変愛されていた大酒のみの男・又サ。そんなちょっと不思議で独特な瀬戸の昔話を子ども向けから大人向けまでご紹介します。





プチミュージカル **ねずみのよめいり** 人形劇 or プロジェクター作品

最低上演料金 **2 ~ 4 万円**より

ワシの娘は世界一！ だからお婿さんも世界で一番を探すのだ！

童話として有名な「ねずみのよめいり」を、可愛いイラストでプチミュージカルにしてみました。自慢の娘・マリエッタのお婿さんを探すパパ。世界で一番強いのは、はたして誰なのでしょう。イラストは花ななこ氏・作曲は田中由美氏に依頼し、素敵なコラボレーションが実現。ペープサート（紙人形）を使って上演し、最後に観客と一緒に土産のペープサートを作るという役者二人・演奏者一人の本来の規模から、個人での出張公演の最後にプロジェクターを使って一人で活弁士風に上演するという規模の、予算に合わせて二つのスタイルをご用意。ぜひ、赤ちゃんからお母さんまで、皆さん一緒にお楽しみください。あ、娘を持つお父さんだけは冷や汗ものかもしれません。



アートで遊ぼう **享保の象**

最低上演料金 **4 万円**より

アートな象がやってくるゾウ！

学校に、公園に、イベントに、町のど真ん中に。巨大な象さんがやってくるゾウ！？最近、市内の様々な場所に出没中の象は、実は芸術家が生み出した現代の魔法。江戸時代の享保年間、長崎から江戸まで象が歩きました。その道筋を辿りながらその行列を知って貰い、現代に蘇らせようというのがこのアートのテーマ。でも理屈抜きにその姿は魅力的、誰もが振り向き存在。幼児から大人まで大人気の象さんです。象さんと一緒に散歩したり遊んだりして、気軽にアートと親しまいましょう。



出演者プロフィール

漆山美術館 (うるしやまびじゅつかん) <http://sketchman.blog54.fc2.com/>
名古屋緑区在住。芸術家。現在全国各地にて象のアートパフォーマンスを行う。
〈活動実績〉
タイフェスティバル東京&名古屋、フランス音楽祭名古屋港2011、COP10、大高緑地公園、白鳥庭園、寛永山祭、柳原夏祭、デンパーク、パティオ地埋樹、大須大道町人祭、長者町糸糸す祭り、小牧アートフェスタ、豊田市美術館、大根七まつり、日タイ友好 長政まつり、他多数。



大人の為の出張公演 **名作を読む「手袋を買いに」等**

最低上演料金 **2 万円**より

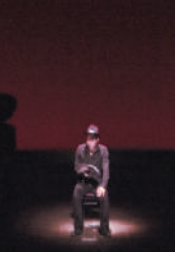
名作を背景から、作者の人生から読み解く。

名作はなぜ名作なのか？そこには作品自体の輝きはもちろんですが、作者自身の人生も深く関わっています。そこで、焦点を作者の波乱万丈な人生に当て、作者が表現に及ぶその軌跡と葛藤をリーディング形式で抉り出します。なぜこの作品を書いたのか、書いてしまったのか。その想いを知った時、作品はより深みと輝きを増すでしょう。作品によっては意欲的に他分野とのコラボレーションを実施。また、小劇場PICOでは毎月一本公演をしています。表題作以外にも埋もれ気味な小作品もいくつか紹介するので、新鮮な発見があると思います。
〈作品ラインナップ〉 手袋を買いに (新美南吉) / 耳なし芳一 (小泉八雲) / 最後の葉 (O・ヘンリー) / 野ばら (小川未明) / マッチ売りの少女 (クリスマス・オムニバス) / など



小鹿あきこ KOJICA Akiko (手袋を買いに イラスト)

愛知県東海市生まれ。東京在住。日本デザイナー芸術学院卒。
第15回セントラル新人イラストレーションコンペティションミューズ賞。
PRISM ILLUSTRATORS SELECTION 2006 グランプリ。
「MOOKファッションイラストレーション・ファイル2007-2008」(玄光社) 掲載。
「MOOKファッションイラストレーション・ファイル2009-2010」(玄光社) 掲載。
「イラストレーション」2007年167号「モノクロームの世界」(玄光社) 掲載。
桐野夏生「アンボス・ムンドス」(文春文庫) 装画。
古谷清刀「青ずきんちゃん」(幻冬舎ルネッサンス) 装画。
「世界一おしゃれな年賀状2011」秀和システム。
「おしゃれでかわいい年賀状2011」毎日コミュニケーションズ。
個展は東京と名古屋で開いている。企画、グループ展の参加は多数。
<http://kojica.jimdo.com/>



これまでの活動は何度か、
各種新聞や各種メディア等でご紹介して戴いております。

右:2007年 5月28日 中日新聞より
左上:2007年 リビング新聞より
左下:2009年 愛知県子ども会機関紙より

